

定山溪温泉「溪流荘」



定山溪温泉郷を舞台に、妍

を競う大型ホテルが主役なら、ひっそりと佇む保養所などは脇役といったところか。ここにきて低料金などで脇役にも人気が出てきた。

金融機関や官庁などの、かつては20施設を超えた保養所や寮が景気の悪化などで8施設に減り、日帰り温泉施設として一般に開放しているのは「溪山荘」(道警職員互助会)、「札幌市ライラック荘」(社会福祉法人「光華園」)、「ホテル新定山溪ゆらら」(道市町村職員共済組合)と札幌市職員共済組合の「溪流荘」だけになった。

職員やOB、家族らの保養を目的に1971年末に完成した。温泉街から離れた、豊平川にも距離があった「溪流」の調べを楽しむことはできないが、知る人ぞ知る「穴場」だった。

男女とも同じ造り



源泉かけ流し「3S」が魅力

で、大浴槽、気泡風呂、水風呂、サウナに目玉の露天風呂。2004年11月の大改装で、源泉100%のかけ流しに変えたのが大当たりした。

支配人の佐藤慎吾さん(62)は「お陰さまで『疲れが残らない』『落ち着ける』って好評をいただいているんですよ」と控えめに自慢した。

「控えめな自慢」には理由があつて、派手な宣伝や格安の料金設定は民間の経営を圧迫しかねないとして「自主規制」しており、「自立」との狭間でシレンマに悩んでいるからだ。

主役を食わず、といつて自らの演技も楽しんでもらいたい脇役――。佐藤さんは、

当面はサーブिस、清潔、スマイルの「3S」でファンを増やすことに徹するつもりだ。

(フリーライター

藤田荘七郎)